

祝・ユネスコ無形文化遺産登録

重要文化財 臨春閣
保存修理事業

臨春閣では平成30年度より、保存修理工事を実施しています。劣化した桧皮葺・柿葺の屋根を葺き替える屋根葺き替え工事と、建物を大きな地震に耐えられるように丈夫にする耐震補強工事です。



We are working on the construction of Rinsunkaku now from 2019. It is a re-roofing construction to make a new 'hiwada' roofing and 'kokera' roofing and seismic reinforcement construction to make this villa strong not to distroy by the huge earthquake.

現在行われている臨春閣保存修理事業の工事現場では、大切な文化財建造物を適切に守り継ぐため、伝統の技術を受け継ぐ「現代の匠たち」がその腕を揮っています。その一部をご紹介します。

★ ひわだぶき こけらぶき 桧皮葺・柿葺
 たんとう ひわだぶき こけらぶき やね 担当：桧皮葺・柿葺屋根

ヒノキの皮を並べて葺く「桧皮葺屋根」と、薄い木の板＝柿板を並べて葺く「柿葺屋根」の葺替を担当します。通称「屋根屋さん」。桧皮葺の桧皮を採集する「原皮師」に対して、葺きの作業をする「葺師」とも呼ばれています。柿葺の柿板製作も担います。



More info 公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会
<http://www.shajiyane-japan.org/>

★ けんぞうぶつもっこう 建造物木工
 たんとう かくしよ もくぶ たいしんほきよう こうじ 担当：各所の木部（耐震補強工事も）

通称「大工さん」。柱梁など建物の骨組みとなる箇所のみならず、屋根や塗り壁下地の補修も行い、あらゆる場面で大活躍。丁寧な解体（≠破壊）と繕いにより、建造物の木材は大切に長く使われ続けます。耐震壁施工など、新しい技術にも手腕を発揮します。



More info 一般社団法人 日本伝統建築技術保存会

★ けんぞうぶつしゅうり 建造物修理
 たんとう せつけい かんり 担当：設計監理※

※工事内容の「設計」をし、設計図通りに工事が進められているかチェックしたり、現場に指示を出したりする＝「監理」を行う業務

文化財建造物の保存修理は、文化財としての価値を損ねないように、慎重に調査し修理方針を検討しなければなりません。このため国庫補助を受ける保存修理工事においては、あらかじめ文化庁の承認を受けた「主任技術者」が設計監理を行います。

主任技術者は、実測調査、資料調査など各種調査を行い、実測図、調書、写真などの記録を作成します。これに基づき、解体範囲や部材の取り替え、部材の補修方法などについて、的確に判断し指示を行います。このように主任技術者は、保存修理全般にわたり重要な役割を果たします。



More info 公益財団法人文化財建造物保存技術協会
<http://www.bunkenkyo.or.jp>